

学籍番号	氏名	担当教員	テーマ
M28-0251F	竹渕 智就	大曾根 匡 先生	若者言葉マスター ～検索機能の開発～

### 1. 研究目的

大学生活において学生と教員との会話は必要不可欠である。しかし、現代の学生の使う言葉は中高年にとって理解するのが難しく、会話の障壁となることが多々ある。そこで、若者言葉を検索し理解を深めることのできるシステムを制作したいと考えた。最終目標として、言葉の世代差を解消するコミュニケーションツールにしたい。

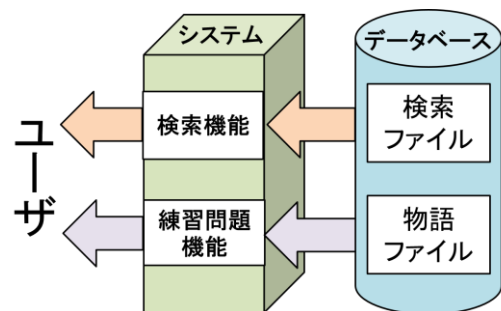


図1 システム概要図

### 2. システム概要

本システムは中高年を対象とし、若者言葉への理解を手助けするシステムである。そのシステム概要を図1に示す。このシステムのうち、筆者は検索機能を担当し、以下の2つのサブ機能をもたせた。

#### (1) 用語検索機能

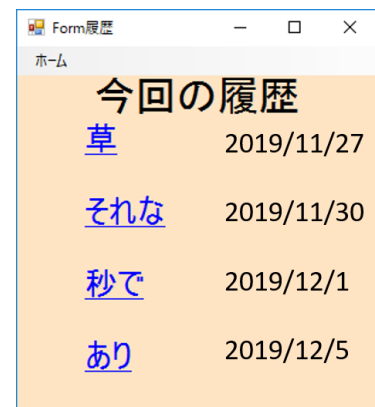
若者言葉の意味を調べることができるように、この機能をもたせた。入力された若者言葉に対して、その読みと意味とイメージ画像を表示する。その用語検索画面を図2に示す。本システムでは、若者言葉の近似検索もできるように工夫した。すなわち、入力された若者言葉が検索ファイルに存在しなかった場合、入力された言葉の頭文字が同一の用語を表示するようにした。また、五十音検索も可能にした。



図2 用語検索画面

#### (2) 履歴機能

過去に検索した若者言葉の検索履歴を確認するためにこの機能をもたせた。用語検索機能で検索した若者言葉の最新5件を表示させるようにした。これにより、ユーザがすぐに忘れてしまう若者言葉を確認できるようになる。その履歴画面を図3に示す。



### 3. 実現方法

Web サイトを中心に用語を調査し、検索ファイルへ登録を行った。用語検索機能の近似検索では、入力された若者言葉の頭文字を検索ファイルから検索し、同じ頭文字の単語を表示させることで実現させた。

### 4. 研究成果

- (1) 用語検索機能により、若者言葉の意味を知り、使用例も知ることができるようになった。
- (2) 近似検索により、聞き誤った言葉に対して、正しい用語の表示を行えるようになった。

### 5. 残された課題

- (1) 履歴機能のデータを記録できないので、履歴ファイルに保存できるようにしたい。
- (2) 記録した履歴データを利用して、ランキング機能を実現したい。
- (3) 画像が静止画なので、動画を導入して、使用例をわかりやすく表現したい。

キーワード	若者言葉、コミュニケーション、中高年、近似検索、用語検索				
種類	システム開発	手法	データ検索	データ源	Web サイト
使用ハード	パソコン	使用ソフト	Visual Studio	使用言語	Visual Basic

